

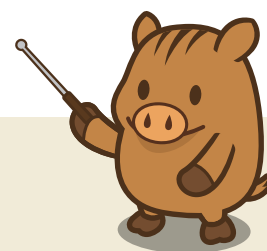
AIセキュリティと フィンテック応用の 最前線

神戸大学 数理・データサイエンスセンターでは、機械学習やブロックチェーン技術の社会実装の推進とデジタルトランスフォーメーションに対応する人材の育成を目指し、2019年5月に一般社団法人デジタルトランスフォーメーション研究機構を設立します。今回はそのディセミネーションイベントとして、フィンテック分野におけるセキュリティをテーマにしたシンポジウムを開催し、デジタルトランスフォーメーションを推進する上で必須のセキュリティ技術について参加者と広く情報共有・意見交換する場とすることを目指します。

日時 2019年5月31日(金) 13:00 - 16:30 (12:30受付開始)

会場 大阪イノベーションハブ
(大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 ナレッジキャピタルタワーC 7階)

定員 100名 (お申込み方法は裏面をご覧ください。) **参加費** 無料



プログラム

12:30~13:00 受付

13:00~13:15 開会の挨拶 齋藤 政彦(神戸大学 数理・データサイエンスセンター センター長)

13:15~13:55 **【講演①】機械学習のセキュリティと品質保証:金融分野での活用も展望して**
宇根 正志(日本銀行金融研究所 情報技術研究センター 企画役)

13:55~14:35 **【講演②】DXを支えるセキュリティ~ブロックチェーンの活用とサイバーセキュリティの重要性~**
白石 善明(神戸大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 准教授)

14:35~15:15 **【講演③】プライバシー保護データマイニングにより広がるビッグデータ解析**
小澤 誠一(神戸大学 数理・データサイエンスセンター 副センター長)

15:15~15:30 休憩

15:30~16:20 **パネルディスカッション**

テーマ:AIの社会実装で拓かれる未来

司会:小澤 誠一

パネリスト:宇根 正志、白石 善明、齋藤 政彦

16:20~16:30 閉会の挨拶 栗尾 孝(神戸大学 数理・データサイエンスセンター 副センター長)



講演① 機械学習のセキュリティと品質保証:金融分野での活用も展望して

宇根 正志 (日本銀行金融研究所 情報技術研究センター 企画役)

[講演概要]

近年、金融業界では、さまざまな領域でAIとりわけ機械学習の活用にかかる検討が進んでいます。機械学習を実装するシステム(機械学習システム)には、情報システム一般に存在する脆弱性に加え、特有の脆弱性も存在することから、対策を検討しておくことが望まれます。また、品質保証にかかる課題についても考慮することが重要です。本講演では、機械学習システムにおけるセキュリティや品質保証にかかる研究動向を説明するとともに、金融分野での活用を想定した場合の留意点を考察します。

[講演者略歴]

1994年3月に筑波大学第三学群社会工学類を卒業後、同年4月に日本銀行入行。2003年3月に横浜国立大学大学院工学研究科博士課程後期を修了、博士(工学)の学位を取得。2006年5月~2007年6月、産業技術総合研究所情報セキュリティ研究センター招聘研究員を経て、2015年7月から日本銀行金融研究所情報技術研究センター企画役。金融分野に関連する情報技術や情報セキュリティ技術の調査研究に従事。



講演② DXを支えるセキュリティ~ブロックチェーンの活用とサイバーセキュリティの重要性~

白石 善明 (神戸大学 大学院工学研究科 電気電子工学専攻 准教授)

[講演概要]

デジタルトランスフォーメーションを実現すると攻撃者による侵入点が増大し、サイバーセキュリティの重要性がますます高まります。データが価値を持つシステムを構築するときに、経済的利益を毀損しないための施策はコストではなく投資と位置付けるべきです。本講演では積極的にデータを活用する基盤を構築する観点から、守りと攻めのセキュリティについて述べます。

[講演者略歴]

2013年より神戸大学大学院工学研究科准教授。電子情報通信学会情報通信システムセキュリティ専門委員会委員長、同会情報セキュリティ研究専門委員会幹事など。電子情報通信学会暗号と情報セキュリティシンポジウム論文賞、同シンポジウム20周年記念賞、情報処理学会高度交通システム研究会優秀論文賞など。暗号技術の応用、サイバーセキュリティインテリジェンスに興味を持つ。



講演③ プライバシー保護データマイニングにより広がるビッグデータ解析

小澤 誠一 (神戸大学 数理・データサイエンスセンター 副センター長、大学院工学研究科 電気電子工学専攻 教授)

[講演概要]

IoTやAI、クラウドといった技術の進展に伴い、行政やビジネス、我々の生活に関わるあらゆる情報がデジタル化され、それが利活用されることにより、業務プロセスやビジネスと企業、人の関わり方に改革をもたらすデジタルトランスフォーメーションが注目されています。これが真の意味で実現されるには、プライバシーなど秘匿性を要するデータの安全な分析手法の確立が必要不可欠です。本講演では、準同型暗号により暗号化してデータを秘匿し、暗号化されたままで機械学習を行う研究をいくつかご紹介します。そして、この技術がビジネスに結びつくことで、将来どのような変革をもたらされ得るのかについて、我々が金融機関と連携して取り組んでいる不正送金(振り込み詐欺等)検知の事例を紹介しながら、考えてみたいと思います。

[講演者略歴]

神戸大学大学院工学研究科修士課程修了後、1998年博士(工学)取得、神戸大学大学院工学研究科准教授を経て、2011年より同大学院教授。機械学習、セキュリティ、プライバシー保護データマイニングなどの研究に従事。International Neural Network Society 副会長(会員担当)、Asia Pacific Neural Network Society 副会長(財務担当)、日本神経回路学会 国際理事、IEEE Trans. on Neural Networks and Learning Systems, IEEE Transaction on Cyberneticsの編集委員などを兼任。



【お申し込み方法】

以下のURL内、お申し込みフォームより必要事項をご入力いただき、お申込みください。

https://www.kokuchpro.com/event/190531_cmds_seminar/



【アクセス】

以下の大阪イノベーションハブのHPをご確認ください。

<https://www.innovation-osaka.jp/ja/access/>



【お問い合わせ先】

神戸大学 数理・データサイエンスセンター

TEL : 078-803-5753

E-mail : cmds-sec@edu.kobe-u.ac.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/cmds.kobe/>

【会場地図】

